

～ 県内のニュースから ～

卒業生ブックプレゼント 中央市立図書館

中央市立図書館では、平成24年度から「卒業生ブックプレゼント」を実施しています。市内の中学校を卒業する生徒に、「おすすめ本リスト」の中から好きな本を1冊選んでもらい、プレゼントするというものです。



中央市で現在行われている「ブックスタート」、「新入生ブックプレゼント」に続く事業として、義務教育を終了する中学校卒業時に、中学生に本を贈る事業として始められました。

おすすめの本は、学校司書と市立図書館司書が協力して、将来に向け、生き方の指針となるような本を、幅広いジャンルから40冊選んだとのこと。それらの本は、12月から3月末まで玉穂生涯学習館で展示し、生徒が実際に手に取って見られるようになっています。人気の本は、小説や、人間の生き方について書かれた人生訓だそうです。

選んだ本は、卒業式前に生徒一人一人に手渡されるそうですが、生徒からは「本をもらえてうれしい」「大切に読んでいこうと思っている」などの感想が寄せられたとのこと。また、先生からは「本に興味を持てなかった生徒が、本は人生に影響を与えてくれるものだ」と認識するきっかけになった、保護者からは「家庭で本について話すきっかけとなった」などの良い反応が出ているそうです。

初めての試みということで、試行錯誤の中での実施だそうです。学校と市立図書館が連携・協力することで、スムーズに進められたそうです。また、司書の方々もヤングアダルト向けの本を知ることができたり、中学生の読書傾向を理解するきっかけともなったりしたそうです。生徒や学校、家庭だけではなく、図書館にもいい影響を与えているのではないのでしょうか。本を贈る素敵な取り組みとして、今後の活動に期待が高まります。

○作家研究○ 人気の絵本作家 鈴木 のりたけ 氏



●略歴

1975年静岡県生まれ。グラフィックデザイナーを経て、『ケチャップマン』で文芸社ビジュアルアート出版文化賞 2006 絵本部門個性派賞受賞。2009年にプロンズ新社から『しごとば』を出版し、人気を博す。2012年10月には本県の甲斐市立竜王図書館でワークショップ等を行った。

●デビュー絵本

『ケチャップマン』(文芸社ビジュアルアート 2008)
押せば中身の出るケチャップ容器のケチャップマンが、自分を生かせる場所を求めてポテトフライの専門店アルバイトを始めるというお話。立体感のある絵と表情豊かな人物、七五調の文章が特徴的です。大人向けの絵本。

●「しごとば」シリーズ (プロンズ新社)

実際に職場を訪ねて作られた絵本。自身も経験したという新幹線運転士も取り上げられています。「職業ごとに机の周りに置かれている道具を集めて、書いてみたら面白いんじゃないか」(楽天ブックスのインタビューより)という言葉の通り、それぞれの職場の様子が細かく書き込まれていて見応えがあります。『しごとば』(2009)は第2回MOE絵本屋さん大賞第3位にランクインし、『続しごとば』(2010)『続々しごとば』(2011)と共に厚生労働省の社会保障審議会が推薦する児童福祉文化財にも選ばれています。

●『かわ』(幻冬舎 2010)

源流から下流まで、川の中を見ることのできる絵本。川に棲む魚や植物、川底の様子が鮮やかに描かれており、臨場感があります。

山梨県公共図書館協会発行の「こどもにすすめたい本2011」で小学校中学年向け図書に選ばれています。

●その他の著作

- 『ぼくのおふる』(PHP研究所 2010)
- 『ぼくのトイレ』(PHP研究所 2011)
- 『しごとば 東京スカイツリー』(プロンズ新社 2012)
- 『おしりをしりたい』(小学館 2012)

○鈴木のりたけ氏を知る(参考資料)

- ・「鈴木のりたけ日記」<http://noritakesuzuki.com/> (2013.2.28 アクセス)
- ・「わたしの新刊『ぼくのおふる』」
「こどもの本」2010年10月号(日本児童図書出版協会 収載)
- ・「月刊MOE」2010年2月号(白泉社) p.14-15
- ・「朝日新聞」2010/3/24 夕刊 15 面
- ・「楽天ブックス 著者インタビュー」
<http://books.rakuten.co.jp/event/book/interview/suzuki-noritake/>

★山梨むかしがたりの会 藤巻 愛子 さん インタビュー

方言が見直されている現在、山梨の甲州弁も何かと話題になっています。

甲州弁で民話を語る「山梨むかしがたりの会」。会の代表であり、民話の語り部として、また再話活動でも有名な藤巻愛子さん。甲州弁の昔話や伝説の本、CDなども出されている彼女に、山梨むかしがたりの会や民話の語りについて、お話を伺いました。

一山梨むかしがたりの会について、結成のきっかけや当時の様子を聞かせてください。

結婚を機に地元山梨を離れ、千葉に住んでいました。昔語りがブームになった頃、甲州弁で語りをしていました。当初、甲州弁は汚い、恥ずかしいと思っていたのですが、語りをほめてもらい、自信を持ちました。また、語りの参加者から、改めて甲州弁の良さを教えてもらいました。

山梨に戻ってきてから、甲州弁の民話を多くの方に楽しんでもらい、次の世代に語り継いでいってほしいと考え、甲州弁での語りの会を開催しました。その時に語りをやりたいという方を募集し、20数名で勉強会を始めたのがきっかけです。当時はほとんどが初心者でした。

一会や会の活動について教えてください。

毎月勉強会を行っています。現在では3つのグループに分かれ、それぞれが独自の活動を行っています。

小学校や福祉施設、公民館や図書館などから依頼があれば、語りの会を開催しています。なるべくその地域にまつわる話、聞き手の層に合わせた話を選んで語ります。また、子どもが対象の時には、こわい話やドキドキする話、その後にわらべうた、ゆかいな話などを入れます。

一語りをしている時の参加者の反応はどうか。

年配の方からは「甲州弁はいいですね!」と言われます。子どもたちは、お話を聴く習慣がないので、学校などで行う時にはきちんと聴けるのかと先生方が心配されます。でも、一緒に物語を生き、一緒に冒険をしているような感じで、集中して聴いています。語り継がれてきた昔話自体に力があり、子どもにも聴く力がある。その二つが合わさるとすごい力になるのです。

一語りをしている時のエピソードなどがあれば教えてください。

子どもたちに語りをする時には甲州弁のクイズをするのですが、例えば「ひてえぐち(ひたい)は「口でもないのに、何で「口」が付くの?」とか、「ももさん(ひざ)は「人でもないのに「さん」なの?」などおもしろい反応が返ってきます。また、まるで外国語を聴くかのように珍しがって興味深く聴いています。

民話を語るときには語り手と聞き手の共感がとても大事です。子どもたち一人一人の目を見ながら語るのですが、子ども一人一人とそれぞれ目に見えない糸でつながっていくのがわかります。子どもたちは自分がお話の中に入っているような感じで、まばたきもしないで聴いているのですが、特に、こわい話の時などは、内容に合わせてその糸がピンと張ったり緩んだりする。これはとても不思議な体験です。ただし、これを感じるのは、子どもが20~30人ぐらいまでの時で、大勢の時には感じられないのです。

一最後に、山梨むかしがたりの会の今後についてお聞かせください。

結成から11周年を迎え、5年ぶりに新規会員を募集しました。昔話、伝説、方言などの文化を継承していく団体と考えていますが、それだけではなく、戦争の話も語り継いでいかなければと考えています。

一ありがとうございました。

藤巻さんのお話はとても興味深く、時間を忘れるほど楽しいものでした。また、時折お話しいただく甲州弁や語りがとても心地よかったです。

みなさんも、甲州弁で語られる民話をぜひ聴いてみてはいかがでしょうか。また、藤巻さんの思いを受け継いで、甲州弁を大切にしていけたらいいですね。

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

*藤巻愛子さんに甲州弁の民話について聞いてみました!

・好きな甲州弁は何ですか?

「ワニワニ」「パンパン」などのような副詞。その言葉を付けることで、意味が強まって語りが生き生きしてくるような言葉。また、「ハッカケハアサン」(ヒガンバナ)などの花の名前や、「クリムジンジイ」(クスサンのケムシ)などの虫の名前も好き。

・おすすめの話、好きな話は何ですか?

「山の背くらべ」(北巨摩)、「嫁と姑」(旧上九一色村)など

・甲州弁のわらべうたがあるようですが、教えていただけますか? かぞえた(藤巻さんの創作)

いちにい さんまの しっぽ ごっちゃん
ろくすっぽうくえん しちめんどうだ やきやき くいくい
とんぴょくりん

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

*藤巻愛子さんの本、CD

『山梨のむかし話と伝説 藤巻愛子が語る』第一集
(藤巻愛子/著 甲州弁民話房 2005年)

『甲州弁で語る山梨の昔話と伝説』第二集
(藤巻愛子/著 甲州弁民話房 2010年)

『甲州弁で語る山梨の昔話と伝説』(CD)
(藤巻愛子/語り 2011年)

『たぬきえもん』

(藤巻愛子/再話 田澤茂/絵 福音館書店 2011年)

『甲府くうしゅうの話 かみず』(藤巻愛子/作・絵 2008年)

甲州弁での語りを楽しみたい方にイベントのご案内!

国民文化祭で語りの会が開催されます。

“寄っちゃばって聴いておくんねえ「武田氏の伝説」”

*6月22日(土) 19:00~20:30

場所: 甲府善光寺(甲府市) 対象: 大人

*8月7日(水) 13:30~14:30

場所: 甘草屋敷(甲州市) 対象: 小学生以上

*10月19日(土) 13:30~15:00

場所: 恵林寺(甲州市) 対象: 大人

※入場無料

主催: 山梨むかしがたりの会
事務局: 0553-33-4265